

第2回 国連「核兵器の全面的廃絶
のための国際デー」記念講演会

北東アジアの 平和と非核化 に向けて～日本の選択～

2015年
10月5日(月)
18:30～20:30
長崎市立図書館
多目的ホール
事前申し込み不要

核兵器の非人道性、そして核兵器禁止を訴える声が国際的に強まる中、「被爆国」日本の立ち位置があらためて問われています。本講演会では、「北東アジア非核兵器地帯」条約案の起草を主導するなど、被爆2世の国会議員として同構想の実現に取り組んできた元法務大臣の平岡秀夫さんを講師に迎え、北東アジアの非核化と平和に向けて日本が取るべき選択肢を考えます。

核兵器の全面的廃絶のための国際デー

(International Day for the Total
Elimination of Nuclear Weapons)

毎年9月26日。2013年9月26日の「核軍縮に関する国連ハイレベル会合」開催を受け、同年秋の国連総会で制定された。核兵器のない世界という共通目標の実現をめざした国際努力の促進に向け、核兵器が人類に及ぼす脅威やその廃絶の必要性に関する世論喚起や教育を強化するための日とされている。

プログラム

第1部：平岡秀夫さん講演／第2部：対談…平岡秀夫さん×朝長万左男さん
聞き手：森永 玲さん（長崎新聞論説委員長）



平岡 秀夫さん

(元法務大臣、弁護士)

第88代法務大臣。1954年山口県生まれ。1976年大蔵省(現在の財務省)に入省。内閣法制局参事官としても多くの重要法案の整備に関わる。2000年6月に衆議院議員となり、民主党核軍縮促進議員連盟(初代会長は岡田克也衆議院議員)の初代事務局長となる。同議連は、2008年8月8日、政治家グループとしては初めて、長崎の地で「北東アジア非核兵器地帯条約案」を公表した。これらの取組みについては、氏の著書「リベラル日本」の創生へアベノポリシーへの警鐘(2015年6月「ほんの木」出版)でも触れられている。

朝長 万左男さん

(日本赤十字社長崎原爆病院名誉院長、
核兵器廃絶地球市民長崎集会実行委員長)



会場アクセス



お問い合わせ 核兵器廃絶長崎連絡協議会事務局 〒852-8521長崎市文教町1-14 TEL: 095-819-2252 FAX: 095-819-2165

主催：核兵器廃絶長崎連絡協議会(PCU-NC) 共催：長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)／核兵器廃絶地球市民長崎集会実行委員会
後援：国際連合広報センター(UNIC)